

「（仮称）北海道SDGs推進ビジョン（原案）」についての市町村意見照会結果

区分～ A 意見を受けて案を修正したもの B 案と意見の趣旨が同様と考えられるもの C 案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの  
D 案に取り入れなかったもの E 案の内容についての質問等

(1) 「1 ビジョンの基本的な考え方」に関する意見

No.	意見の概要	意見に対する道の考え方	区分	振興局	意見と関連するビジョン(案)の項目
1	SDGsという言葉自体が、道民に浸透しているとはいえないことから、北海道がこの時期に本ビジョンを策定する意義を道民や自治体、関係団体等に分かりやすく説明する必要があると考える。	SDGsの普及については、各地域でのビジョン説明会の開催のほか、道民の認知度等に関する意識調査の結果も踏まえて、積極的に取り組んでまいります。	B	十勝	1(1) 策定の趣旨 (P1)
2	現在SDGsを団体等には、「気づきから始める」という文言は非常に響くと感じる。原案においても、その部分をもっと強調した書き方にするなどで、垣根を低くしオール北海道で取り組む気運が醸成されるのではないかと。	御意見の趣旨については、今後、本ビジョンをはじめ、SDGsを周知するなど、普及活動を進める上での参考とさせていただきます。	C	日高	1(4)③「段階的な対応」(P9)

(2) 「2 北海道を取り巻く状況」に関する意見

No.	意見の概要	意見に対する道の考え方	区分	振興局	意見と関連するビジョン(案)の項目
3	いじめ（特に小・中・高）は、不登校・引きこもりの要因となり、その後の社会生活に多大な影響を与えたり、自殺にもつながることから、教育や安全・安心、健康・福祉に関連するものとして、いじめの件数や不登校、未成年者の自殺死亡率をどこかに掲載してはどうか。	御意見の趣旨を踏まえ、2の(1)の③の「教育」に、関連するゴールや本道の現状・課題に関する記述、データを追加しました。また、3の(2)の②の優先課題Ⅳの対応方向「子ども・青少年の確かな成長を支える環境づくり」に、関連する「道の主な取組」、「参考となる指標」を追加しました。	A	上川	2(1) 北海道の現状・課題 (P11～36)
4	ひとり親の世帯数を掲載しているが、貧困や健康にどのように関係しているのか不明。掲載するならば、ひとり親の家庭が貧困または健康的ではない根拠となる資料が必要と考える。	当該データは、子どもの貧困の現状を表すものとして掲載していますが、御意見の趣旨を踏まえ、母子世帯の総所得が、全世帯（及び児童のいる世帯）よりも低くなっている現状を示す国の調査結果を表として追加しました。	A	上川	2(1)①「健康・福祉」(P11～14)
5	この度の北海道胆振東部地震による長期間のブラックアウトや、その後の電力需要への対応など、北海道の電力インフラの脆弱性が明らかになったところであり、「安全で安定した持続可能な電力」について、防災 エネルギー、インフラ3区分のいずれかに盛り込んでどうか。	道では、北海道胆振東部地震による一連の災害対応に関し、今後、有識者や防災関係機関等からなる検証委員会による検証を進め、その結果を今後の防災対策に反映するなど、本道のさらなる防災力の強化を図ることとしているため、御意見の趣旨については、今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。	C	根室	2(1) 北海道の現状・課題 (P11～36)
6	9月6日の胆振東部地震による大規模停電を踏まえ、有効活用に関した課題点を掲載してはどうか。	道では、北海道胆振東部地震による一連の災害対応に関し、今後、有識者や防災関係機関等からなる検証委員会による検証を進め、その結果を今後の防災対策に反映するなど、本道のさらなる防災力の強化を図ることとしているため、御意見の趣旨については、今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。	C	上川	2(1) 北海道の現状・課題 (P11～36)

「（仮称）北海道SDGs推進ビジョン（原案）」についての市町村意見照会結果

(2) 「2 北海道を取り巻く状況」に関する意見

No.	意見の概要	意見に対する道の考え方	区分	振興局	意見と関連するビジョン(案)の項目
7	エネルギーに関する本道の現状・課題について、風力発電やバイオマスなどの「再生可能エネルギー」の導入促進等についても記述してはどうか。	「新エネルギー」には、風力やバイオマス等による「再生可能エネルギー」が含まれています。なお、「新エネルギー」の内容については、ビジョンの「用語解説」に記載しました。	B	留萌	2(1)②「エネルギー」(P25)
8	再生可能エネルギーだけでなく石炭についても記載してほしい。	2の「(2)世界に誇れる北海道の価値と強み」については、SDGsのゴール、ターゲットに照らした本道の価値と強みを掲載しています。SDGsのゴール7では、再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させるというターゲットが掲げられているため、これに関連する本道の価値と強みとして、再生可能エネルギーについて記載しています。御意見の趣旨については、今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。	C	釧路	2(2)⑥豊富で多様なエネルギー資源(P43)
9	「オホーツク文化」について、北海道の歴史・文化の中に追記してもよいのではないか。なお、オホーツク文化についてはサハリン・千島列島などにも遺跡が分布しており、アジア・ロシア極東地域の古代文化との関連性も認められることから、古代における環オホーツク海地域の交流という点で、「②アジア・ロシア極東との近さなど地理的優位性」とも関連付けることが可能である。	御意見の趣旨を踏まえ、2の(2)の「⑧独自の歴史・文化」の「本道の価値と強み」に、オホーツク文化（大規模竪穴住居跡群）に関する記述を追加しました。	A	オホーツク	2(2)⑧独自の歴史・文化(P45~46)

(3) 「3 北海道のめざす姿と優先課題・対応方向」に関する意見

No.	意見の概要	意見に対する道の考え方	区分	振興局	意見と関連するビジョン(案)の項目
10	釧路地域の火力発電所の取組について記載してほしい。	「参考となる主な取組例」については、SDGsのゴール、ターゲットや本道の課題、価値や強みなどを踏まえて設定した「優先課題」の「対応方向」ごとに関連するものを掲載することとしています。御意見の趣旨については、今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。	C	釧路	3(2)②優先課題ごとの対応方向(P51~87)
11	優先課題Ⅲの対応方向iiの「道の主な取組」にある「全道産学官ネットワーク推進協議会」について、会議の趣旨（規約）、加盟団、推進方策などを明らかにしてほしい。	御意見の趣旨を踏まえ、「用語解説」に「全道産学官ネットワーク推進協議会」の解説を記載しました。	A	石狩	3(2)②優先課題Ⅲの対応方向「ii 地域産業の創造やイノベーションの創出」(P70~71)
12	優先課題Ⅲの対応方向iiの「道の主な取組」に「道立工業技術センターによる技術支援や地域の産業支援機関への企業支援マネージャーの配置などにより企業支援を行っている」とあるが、現在の地域数やマネージャーの配置数など具体的な状況を記載してほしい。	御意見の趣旨を踏まえ、「道の主な取組」に企業支援マネージャーの配置状況に関する記載を追加しました。	A	石狩	3(2)②優先課題Ⅲの対応方向「ii 地域産業の創造やイノベーションの創出」(P70~71)

「（仮称）北海道SDGs推進ビジョン（原案）」についての市町村意見照会結果

（３）「３ 北海道のめざす姿と優先課題・対応方向」に関する意見

No.	意見の概要	意見に対する道の考え方	区分	振興局	意見と関連するビジョン(案)の項目
13	輸出促進の取組に関して、道内からの輸出額に係る指標を加えてはどうか。	御意見の趣旨を踏まえ、3の(2)の「② 優先課題ごとの対応方向」に、指標の選定や、目標値の設定・見直しの考え方に関する記載を追加しました。なお、優先課題Ⅲの対応方向「iv 海外成長力の取り込みや多彩な地域資源の活用による持続的な経済の発展」においては、本道が有する価値や強みである食・観光に関する指標を設定しています。	A	留萌	3(2)②優先課題Ⅲの対応方向「iv 海外成長力の取り込みや多彩な地域資源の活用による持続的な経済の発展」(P73~74)
14	地域や産業を担う人材の育成・確保の指標として、高校・大学の新卒者の道内就職率等を加えてはどうか。	御意見の趣旨を踏まえ、3の(2)の「② 優先課題ごとの対応方向」に、指標の選定や目標値設定、見直しの考え方に関する記載を追加しました。なお、優先課題Ⅳの対応方向「ii 地域や産業を担う人材の育成・確保」の対象は、道内の新規学卒者に限定されないため、当該指標は設定していません。	A	留萌	3(2)②優先課題Ⅳの対応方向「ii 地域や産業を担う人材の育成・確保」(P78~79)

（４）「４ ビジョンの推進」に関する意見

No.	意見の概要	意見に対する道の考え方	区分	振興局	意見と関連するビジョン(案)の項目
15	SDGsの推進に向けて特に取り組んでいる市町村との連携や支援について、次のようなより具体的な内容を明記してほしい。 <多様な主体の連携・協働> ・SDGsの推進に向けて積極的に取り組んでいる市町村との連携を強化し、多様な支援策を検討します。 <道としての取組> ・SDGsの推進に向けた積極的な取組を行う市町村と連携し、道内におけるSDGsの普及を図るセミナー・シンポジウムを開催します。	4の(2)の「道としての取組」に記載しているとおり、道では、本ビジョンに沿って、多様な主体と連携を図りながら、幅広い分野や地域でSDGsの推進に取り組むこととしているため、御意見の趣旨については、今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。	C	渡島	4(2)推進手法(P89~90)
16	北海道SDGsの推進に向けて、地域住民へ広く普及できるよう様々な活動を行ってほしい。	SDGsの普及については、各地域でのビジョン説明会の開催のほか、4の「(2)推進手法」にあるとおり、積極的に取り組んでまいります。	B	オホーツク	4(2)推進手法(P89~90)
17	各主体の取組の推進にあたっては、北海道が中心となって、それぞれに求められる役割や取り組みの推進によるメリットなどを各主体に対し、しっかりと説明する必要があると考える。各主体が共通の認識に立ち、取り組みを進めていくべきであり、策定主体である北海道にはそうした役割が求められているものとする。	御意見の趣旨については、SDGsの普及を進める上での参考とさせていただきます。	C	十勝	4(2)推進手法(P89~90)
18	4の(1)「企業（個人事業者も含む）」 誤字 「重用」→「重要」	御意見のとおり文言を修正しました。	A	根室	4(1)各主体の取組(P88~89)

「（仮称）北海道SDGs推進ビジョン（原案）」についての市町村意見照会結果

（５）ビジョン全体（又は複数項目）に関する意見

No.	意見の概要	意見に対する道の考え方	区分	振興局	意見と関連する ビジョン(案)の項目
19	ビジョンでは北海道の強靱化や安全性について触れられているが、今回の北海道胆振東部地震で、必ずしも北海道が首都圏と比較して災害に強いという立地条件ではないことが明らかになったため、震災の内容を踏まえ、さらに踏み込んだビジョンにすべきではないか。	御意見の趣旨を踏まえ、2の(1)の①の「防災」の「本道の現状・課題」に、北海道胆振東部地震など近年の大規模自然災害の発生に関する記載を追加しました。 なお、北海道の立地条件については、自然災害は、全国各地で発生する可能性があるものと想定しており、今後、道内外の大規模自然災害に備え、首都圏等の他地域と北海道とが同時に被災するリスクが低いことを、2の(2)の「②アジア・ロシアとの近さなど地理的優位性」に記載しています。御意見の趣旨については、今後の取組を進める上での参考とさせていただきます。	A	空知	2(2)世界に誇れる北海道の価値と強み(P37~46) 3(2)②優先課題ごとの対応方向(P51~87)
20	多様なエネルギー資源を検討することも必要だが、それ以前にエネルギー使用の削減に向けた提言が必要と考える。また、鉱物資源開発による大規模な森林伐採では、多くの先住民族の生存権・生業権が危ぶまれている。北海道あるいは日本において先住民としてアイヌ民族への配慮を考えているようだが、SDGsにおいてはもっとグローバルな視野で、検討・配慮が必要。	1の(4)の③の「経済、社会、環境をめぐる広範な取組」において、SDGsは経済・社会・環境の三側面において、バランスがとれ統合された形で達成するという基本的な考え方やその重要性について紹介することを通し、多様な主体による三側面に配慮した取組を促すこととしています。	B	十勝	2(2)⑥豊富で多様なエネルギー資源(P43) 3(2)②優先課題Vの対応方向「ii 北海道独自の歴史・文化の継承やスポーツの振興」(P83~84)
21	SDGsに関して、実現に向けた取組を行うだけの理解度が足りない団体がまだ多いのではないかと。市町村からの意見照会を実施しているが、この状況でどのくらい期待して、照会しているのか。	SDGsの推進に当たっては、その理念や意義について道民の皆様の理解が広がり、道内の各地域において、多様な主体による広範な取組が活発に展開されることが重要であることから、本ビジョンは市町村や関係団体など、道民の方々から広くご意見を伺いながら策定を進めることとしています。	E	日高	-
22	北海道がビジョン策定した場合、市町村に、具体的取り組みを求めるのか。若しくは、市町村に個別で策定を求めるのか。	本ビジョンは、1の「(2)ビジョンの位置付け」において、道内の多様な主体が互いに共有する「基本的な指針」であり、また、各主体の取組を促進するための「ガイドライン」として位置付けており、各主体のSDGsの主流化や自発的な取組を促すために策定するものです。	E	日高	-